

理事長挨拶



理事長 助川 英治

経営支援NPOクラブの第5代目理事長に就任いたしました助川英治でございます。皆様方には平素より私共NPOクラブの活動につきまして、ご支援とご協力を賜り誠に有難うございます。

当NPOクラブでは例年5月の通常総会で新たな理事が選任されますが、今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により新理事の選任は7月末の臨時総会での選任となりましたので、皆様方へのご挨拶が今となりました次第です。今回の理事改選では8名が再任理事ですが、新理事が7名加わりましたので新たな息吹が感じられる新体制としてスタートしたところです。

当NPOクラブも18年目を迎え、会員も241名の大人数に達しましたので運営方法や活動内容も時代のニーズに合わせて変革すべきと考えております。変化に対して如何に対応するか、できるかが重要です。

山口浩利前理事長は「不易流行」という言葉を引用し、旧くて良きものは継承しつつ、他方、新しく変化を重ねているものも良いものは積極的に取り入れていくことを強調しておりましたが、これは引き続き組織の基本姿勢といたします。

未曾有のコロナ禍で世界中のあらゆる企業・産業がダメージを受けている中で、中小企業様の支援活動をどのように行っていくか、行けるかは大きな課題であり、委託機関様との協議を重ねているところです。当NPOクラブが得意とする販路開拓支援（マッチング）を従来のリアル面談でなくWebを活用したマッチングでどうしたら効果的に進められるかの検討はその一つです。中小企業様のWeb会議の活用支援も検討すべき課題であり、NPO内部会議の殆どをWeb会議で試行して行く中でWeb会議の技術・ノウハウを蓄積中です。

販路開拓支援以外の経営支援や委託調査活動も拡大中ですが、今後の支援活動の準備策としてヘルスケア、新素材、エネルギー産業、農産物・食品輸出、デジタル・イノベーション（旧IoT）に加えて補助金制度活用支援、中小企業経営強化などの研究会を設

けて自己研鑽に励んでおります。また、中小企業支援以外の社会貢献活動として、当NPOクラブの人材による企業様向け、学校・教育機関向けの講演会・セミナー活動も次世代育成支援活動として着実に定着してきております。さらに自然大災害復興支援活動も継続中です。

今後とも時代に沿った変化に対応できる支援活動を行って行く所存ですので皆様から忌憚のないご意見やアドバイスを頂ければ幸甚に存じます。よろしくご意見申し上げます。